

エスワンタイホウ®

製品サイトのご案内



医療関係者向けに、エスワンタイホウに関する情報を
紹介しておりますので、
日常診療にお役立ていただけましたら幸いです。



エスワンタイホウ

検索

<https://www.okayama-taiho.co.jp/medical/brand/s1t/>



エスワンタイホウ® 配合OD錠 T20 T25
S-1TAIHO combination OD tablets

<エスワンタイホウ 基本情報>

エスワンタイホウについて
エスワンタイホウの副作用特性
注意すべき自覚的副作用とその対応
適正使用ガイド

<エスワンタイホウ 診療補助ツール>

投与量計算機

<Drug Information>

Drug Information



岡山大鵬薬品株式会社

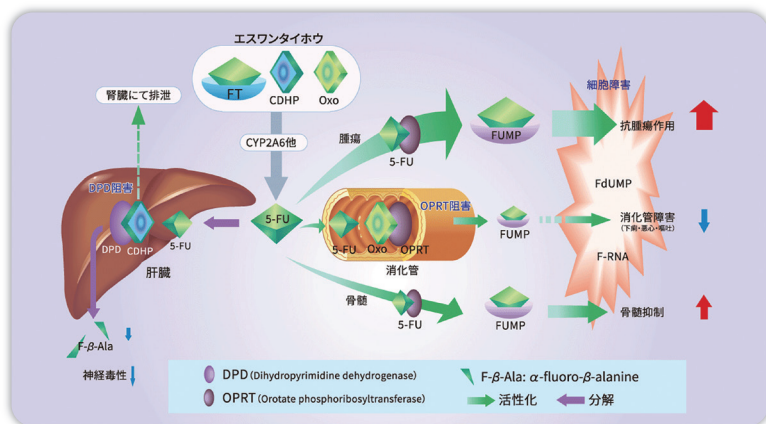
より多くの患者さんが 治療に前向きに 取り組めるように

エスワンタイホウを安全かつ適正に
ご使用いただくための医療情報サイト



エスワンタイホウについて

エスワンタイホウの薬剤特性と作用メカニズムを
ご紹介します。



(イメージ図)



注意すべき自覚的副作用とその対応

このコンテンツでは比較的発現頻度の高い注意すべき自覚的副作用を取り上げ、
患者さんのQOL、服薬アドヒアランスをより高めるため、その発現頻度、
発現時期、処置、予後、対策などを解説しています。

注意すべき 自覚的副作用とその対応

下痢

下痢は発症開始後1〜4週目に発症が多く、重しい下痢の場合に緊急受診まで至ったとの報告があります。下痢が発現した場合には重症化しないよう経過・休薬を考慮するとともに止瀉剤を投与するなどの対応が必要です。また、脱水、電解質異常、低栄養にも注意する必要があります。

発現率

ファイブエスワン全薬品群までの臨床試験、使用成績調査及び市販後臨床試験における下痢の発現率は下表のとおりでした。薬物投与に伴い、CDP（シスプラチン）併用投与でより高い発現率でした。

副作用	承認時までの臨床試験 （751例）	使用成績調査（併用投与・併用投与） （375例）	市販後臨床試験（併用投与・併用投与） （150例）
下痢	14例 (2.1%)	31例 (8.3%)	51例 (34.5%)

発現時期

発症のファイブエスワン全薬品群までの発現例（n=29例）は投与開始後1週目より発現し、3週目が多い。投与開始後1週目以内に71.4%の発現が認められ、投与までの期間が平均15.5日（n=27例）でした。また、後述の臨床試験結果に示す初期発症の中央値は24.5日（n=100例）でした。



投与量計算機

エスワンタイホウの投与量を
体表面積とクレアチニンクリアランス
から算出します。